

シンポジウム

AIとゲノム編集・ビッグデータを考える

全国民の健康や疾病の情報が集積され、AI技術で解析され、そして管理され、利用されています。それを利活用する政府の国家戦略も進められつつあります。バイオテクノロジーの目指すべき将来像としても、AIとの融合を土台として、経済利用を推し進めようとしています。具体的には、大規模なヒトゲノムのデータの集積とそれのAI技術による利活用です。

では、AI技術って何でしょうか。身近によく聞くけれど、どんな技術なのでしょう。人間には難しいことでも答えを出してくれる優れものという人もいますが、信用できるものなのでしょうか？

AI技術に詳しい甘利俊一さんと、ヒトゲノムのビッグデータ化の問題を追及されている天笠啓祐さんに、AI技術の原理、ビッグデータがどのように利用されるのか、ゲノム編集技術にAI技術を適応した時の課題や問題点などについて、問題提起いただこうとシンポジウムを企画しました。

とっつきにくい分野のお話しですが、私達市民にも分かりやすくお話しいただきます。この機会に政府や企業が何を考えているのかを知る機会になると思います。皆様方の議論への参加を望みます。

記

日時：2020年2月16日（日）13時30分～16時30分（開場13時）

場所：東京都江戸東京博物館 小ホール

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/information/access/>

JR 総武線 両国駅西口下車 徒歩3分

都営地下鉄大江戸線 両国駅（江戸東京博物館前） A4 出徒歩1分

講師：甘利 俊一さん(理化学研究所荣誉研究員,2019年度 文化勲章受章)

「AIとビッグデータ」

天笠 啓祐さん (ジャーナリスト、市民バイオテクノロジー情報室)

「ゲノム編集とビッグデータ」

資料代：1000円

主催：ゲノム問題検討会議

<https://genome714com.wordpress.com/>

共催：現代技術史研究会 M 分科会

連絡先：神野玲子 ☎090-2669-0413、E-mail jreikochan@yahoo.co.jp

